

こんな活動です

学校・家庭・地域が一体で、子育てや地域づくりを推進する学社融合事業

和歌山県田辺市

活動名

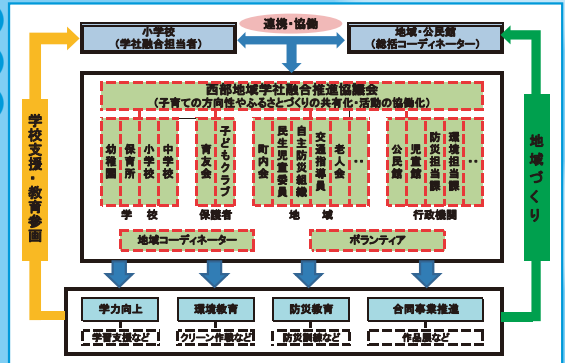
西部地域学社融合推進協議会

関係する学校名

田辺第三小学校

基本データ	学校支援活動	統括コーディネーター数 1人	地域コーディネーター数 2人	ボランティア登録数 100人	学習支援 有	開始年度 23年度	国庫補助 有	ICT活用 無	企業・NPOとの連携 無
	地域未来塾	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	ボランティア登録数	子供の平均参加人数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	放課後子供教室	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	年間開催日数	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
		実施場所		学習支援		放課後児童クラブとの連携			
	土曜日の教育活動	統括コーディネーター数	地域コーディネーター数	子供の平均参加人数	学習支援	開始年度	国庫補助	ICT活用	企業・NPOとの連携
	コミュニティ・スクール	指定日				委員数	児童生徒数	学級数	

体制図



活動の概要
田辺第三小学校と西部公民館では、平成23年度から3年間、文部科学省の補助事業を活用し、「学校支援地域本部事業」を立ち上げ、学校・家庭・地域が連携・協力し、地域ぐるみで子育てしていくための体制づくりに取り組み、現在でも、西部地域学社融合推進協議会として、その組織体制が引き継がれている。

経緯
同協議会は、公民館長、公民館主事（コーディネーター）及び学校の担当者をはじめ、自主防災組織や老人会、児童館など地域の各機関や団体などから幅広い人材で構成されており、学習支援ボランティアによる学習支援や学校を核とした地域づくりに取り組んでいる。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

学力向上では、学習支援ボランティア（OK先生）が学校の授業に参加し、昔の暮らしや遊び、俳句学習・ミシン学習など、普段の授業で馴染みがない学習支援を行っている。

環境教育では、ナショナルトラスト発祥の地である天神崎の環境保全や地域の自然のよさを知り、学習に生かすため、地域の方々と一緒にクリーン作戦や生き物学習を行っている。

防災教育では、近い将来発生が予想される東海・東南海・南海地震などに備え、地域の方々も加わり、学校と地域が共に防災学習を進めることで、地域の方々の防災意識を高めるため、防災訓練や防災学習発表会などを行っている。

【実施に当たっての工夫】

- ◆西部地域学社融合推進協議会
西部地域学社融合推進協議会を設立し、各町内会長から構成される町内会連絡協議会をはじめとする地域の各種団体や、市の関係機関が参画し、地域と行政が一体となった事業を行っている。
- ◆学習支援ボランティア（OK先生）
 - ①地域人材の活用について、授業者が計画したものを地域コーディネーターに伝え、日程調整を行う。
 - ②事前打合せ会を行い、授業のねらいを伝え、当日の役割分担を行う。
 - ③授業後、反省や課題を話し合い、感想やお手紙などで交流を図る。

● 事業を実施しての効果・成果

子供にとっては、地域の人材を活用した授業で専門的な知識に触れ、学習意欲の向上と郷土愛を育むことができました。

学校にとっては、地域の方に支援をいただくことで専門的な知識を習得でき、学習活動を広げ、深めることができたとともに、児童のニーズに即したきめ細かい指導を行うことができ、学習効果が高まった。

地域にとっては、生涯学習の視点から、地域の方々が自らの学習成果や経験を生かす場として、学校や子供からも多くのことを学び、生きがいづくりにつながった。

それぞれの活動を通し、学校・地域・家庭の結びつきが強くなり、地域の絆が深まり、地域の教育力の向上と伝統文化の継承・地域の活性化につながった。



天神崎クリーン作戦の様子



そろばん学習の様子